

雪印の春だいこん品種のご紹介

雪印種苗(株) 千葉研究農場

松 井 誠 二

1 はじめに

昨シーズンの春だいこんの生育状況を振り返ってみましょう。トンネルだいこんでは冬が近年まれにみる暖かさで早播きでは生育がかなり早まりました。これは記録的な寒さであった一昨年との冬と較べるとびっくりする程の違いであり、品種によるトンネルの管理方法のコツが品質、生育面で明暗を分けたと言っても過言ではありませんでした。

また、高冷地では春の異常低温による抽苔の他、多雨による軟腐病、生理障害の発生や高温による品質低下が見られました。

このような中で秀品率を上げることが生産農家にとって大変重要な課題になっています。

当社からも多くの品種を販売、試作していますが、今回は春だいこんの品種紹介と栽培の注意点を説明させていただきます。

2 『春風太』

本品種は暖地、一般地の越冬春どりに適した品種で、トンネル、露地栽培に向きます。

特性

極晩抽性の長形青首総太り。

吸いこみ性で耐寒性が強い。

小葉で密植適応性がある。

根長38~40cm, 根重1,300g, 根径7cm

栽培の注意点

厳寒期の栽培なので肥沃な圃場を選定し、深耕、高畝マルチを行い、作土を充分確保して下さい。

低温乾燥期の栽培なので、横縞症の発生に注意

が必要で、緑肥(ヘイオーツ)を栽培して、保水性のある土作りを行って下さい。播種時に乾燥している場合は散水を行って下さい。

耐寒性、極晩抽性を有する品種ですが、寒さが厳しい年では、古ビニールや開放換気では寒害を受けることがありますので、様子を見て保温に心掛けて下さい。

換気穴を空けていくトンネルや二重トンネルではトンネル内が蒸れやすくなりますので、早め早めの換気に心掛けて下さい。



春風太

3 『寒関』

本品種は春風太の後の作型に適する品種で暖地、一般地のトンネル栽培で特性を発揮します。

特性

極晩抽性の青首総太り。

空洞症が出にくく揃いが良い。

やや大葉で根の太りが早い。

根長36～38cm，根重1,300g，根径7～7.5cm

栽培の注意点

年内などの早播きは短根になりやすいので、べたがけなどをして地温を上げて下さい。また、厳寒期に発芽する作型なので、十分に保温して発芽をスムーズに行わせて下さい。

初期生育はややおとなしいほうですが生育後半に葉が強くなりやすいので、施肥はやや控えめとし、生育中後期以降は葉勝ちにならないようにトンネルの換気を充分に行って下さい。

太りが早いので春風太と収穫が重なる恐れがあります。播種期の間隔を充分に空けて計画的に播種して下さい。

換気穴を空けていくトンネルや二重トンネルでは葉勝ちになりやすく品質低下の原因になりますので、早め早めの換気に心掛けて下さい。



寒閑

4 『喜太一』

本品種は『春風太』『寒閑』の後の作型に播種する品種で、播種期幅が広いのが特徴で、暖地、一般地のトンネル～東北・北海道の春播きまで栽培できます。

特性

極晩抽性で根形がきれいな総太り。
ひげ根が極細く、洗い上がりが非常に美しい。
萎黄病やウイルスに強く栽培しやすい。
根長36～38cm，根重1,200g，根径7cm
生食利用だけでなく加工利用にも優れていま

す。

栽培の注意点

トンネルの早播きや古ビニールの栽培は短根や抽苔の原因になるため注意が必要で、保温方法に留意し、べたがけなども有効利用して下さい。マルチ栽培では寒の戻りで抽苔することがあるため、播種時期、播種作業に注意が必要で、べたがけなどを有効利用して下さい。

高温期に向かう作型では年によって生理障害が発生する圃場があるので、圃場選定（乾燥害、湿害）、施肥量、微量要素などの対応が必要です。

根長がやや長くなりやすい条件では晩抽喜太一との併用が可能です。



喜太一

5 『晩抽喜太一』

本品種は喜太一の優れた特性を兼ね備えながら、より晩抽性に改良した新品種で、特に異常気象になりやすい高冷地でその特性を発揮します。

特性

極晩抽性の青首総太りで、抽苔が遅いので喜太一より安心して播種できます。

根の形状・揃いが非常に良く、ひげ根が細く肌がきれいです。

萎黄病やウイルスに強く栽培しやすい。

根長35～38cm，根重1,200g，根径7cm

生食利用だけでなく加工利用にも優れています。

晩抽喜太一の栽培時期			●.....● 播種期	—— 生育期	—— 収穫期						
地	域	作型	月	2	3	4	5	6	7	8	9
北海道	道南 道央	トンネル				●	●	●	●	●	
		マルチ 露地									
	道東 道北	マルチ					●	●	●	●	
		露地									
東北・高冷地	トンネル	トンネル			●	●	●	●	●	●	
		ベタがけ マルチ									
		露地									
一般地	トンネル	トンネル		●	●	●	●	●	●	●	
		ベタがけ マルチ									
暖地	トンネル		●	●	●	●	●	●	●	●	

栽培の注意点

トンネルの早播きや古ビニールの栽培は短根の原因になるため注意が必要で、保温方法に留意し、べたがけなども有効利用して下さい。
 マルチ栽培の早播きは地温が上がったのを確認してから播種作業を行い、べたがけを有効利用し、初期生育、根長を確保して下さい。
 高温期に向かう作型では年によって生理障害が発生する圃場があるので、圃場選定（乾燥害、湿害）、施肥量、微量要素などの対応が必要です。
 多雨、多湿圃場では裂根などの品質低下の恐れがありますので、土作り、適量施肥、適期収穫に心掛けて下さい。



晩抽喜太一

6 春だいこん『ツマ用RA131』

本品種は加工利用に適した品種で、特にツマ用途に向く極晩抽性の品種です。

特性

首色は白首に近い淡緑色で内部の着色がない。
 肉色は純白で、す入りが極めて遅く、肉質が硬

い。

極晩抽性でトンネル栽培で特性を発揮する。
 根長40~45cm、根重1.5~3.0kgのポリウムある根形に良く揃う。

栽培の注意点

低温、多肥、乾燥条件で空洞症が発生することがあるので、十分に保温した管理が必要です。
 水分条件に注意して播種し、肥料も必ず控えめにして下さい。
 マルチ栽培はべたがけを有効利用し、保温に留意し、初期生育を進めて下さい。



ツマ用RA131

7 むすび

春だいこんのラインナップの紹介をしましたが、各品種の適作型と栽培の注意点を良く理解して頂き、良品生産されますようお願い致します。
 なお、これらラインナップを強化する試作系統も色々を用意しておりますので、どうぞ、お問い合わせ下さい。

自動哺乳機用代用乳

カーフミルクAT



特長

1. 自動哺乳機で使いやすいように、流動性を改善しました。
2. 蛋白質原料の組み合わせを調整し、お湯になじみやすくなりました。
3. 新規ハーブ剤、全卵粉末を配合しました。
4. 大豆蛋白、植物性油脂など植物素材にこだわりました。
5. 子牛の腸内微生物叢を整えるために、ガラクトオリゴ糖とトヨイ菌を配合しています。

給与方法

初乳からの切り替えは、即日全量切り替えてもかまいません。
 代用乳の濃度は、7倍量を目安に設定してください。
 子牛に代用乳を給与する時、約40 となるように、お湯の温度を設定してください。
 調整する代用乳量の確認、補正を行って下さい。
 生時体重が小さい牛(35kg以下)や虚弱な子牛は、哺乳期間を延長して下さい。
 繁殖和牛子牛は、代用乳に馴らしてからグループ管理に移行させて下さい。(給与プログラム例参照)

保証成分

粗蛋白質	粗脂肪	粗繊維	粗灰分	カルシウム	リン	TDN
26.0%	20.2%	1.0%	10.0%	0.5%	0.5%	108.0%
以上	以上	以下	以下	以上	以上	以上

給与プログラム例

ホルスタイン・F1

生後日数	0~7	8~15	15~16	16~42	43~49	50~60
初乳	4~5L/日					
哺乳量(/ 日)	1L x 3回	1L x 3.5回	1L x 4回	2L x 2回	2L x 1~2回	
濃度	130 g / L					
人工乳・乾草	飽食給与					
水	自由飲水					

導入ホルスタイン

導入後日数	0~7	7~8	8~35	36~42
哺乳量(/ 日)	1L x 3回	1L x 3.5回	1L x 4回	2L x 1~2回
濃度	130 g / L			
人工乳・乾草	飽食給与			
水	自由飲水			

黒毛和種

生後日数	0~5	6~7	8~15	15~16	16~49	50~60	60~70
初乳	体重に応じて給与						
哺乳量(/ 日)	3L	1L x 3回	1L x 3.5回	1L x 4回	2L x 2回	2L x 1~2回	
濃度	138 g / L						
人工乳・乾草	飽食給与						
水	自由飲水						
飼養施設	カーフハッチor親と同居				哺育牛舎		

自動哺乳給与マニュアル

当社では、施設面、飼養環境の注意点を網羅した詳しいマニュアルを用意していますので、お気軽に担当者にお問い合わせ下さい。